

平成18年度

「福祉と文化の整った安心で安全なまちづくり」を目指して

予算総額は120億800万円

私たちの暮らしに深いつながりのある平成18年度予算が3月の池田町議会定例会で決まりました。本年度から池田町第四次総合計画の後期五カ年事業がスタートします。

平成18年度池田町の予算においては、21世紀の自治行政の基礎をつくる転換期と考え、住民参加、住民と行政の協働により積極的な自律のまちづくりに向け、少子化対策支援事業、災害に強い防災街づくり支援事業、教育環境整備事業、ゴミ等の循環型社会形成システム構築事業などを中心に進めながら限られた財源の中で事務事業の見直し検討を加え、民間との効率性の比較などを行い、より良い行政運営に努めます。そして、町民の

皆様との話し合いを深めながら、「福祉と文化の整った安心で安全な池田町のまちづくり」に向けて進めていきます。

一般会計、特別会計を合わせた予算の総額は120億800万円。前年度と比べて2.5%減額となりました。今月はこの予算の内容について紹介します。



温知小学校新校舎の全景写真

「平成18年度 施政方針から」池田町長

町民の皆さまのご支援、ご協力を賜り第四次総合計画に沿って前期5カ年事業が順調に推進され、本年度から後期五カ年がスタートできますことに対しまして、深く感謝申し上げます。

平成18年度の国の予算編成では、簡素で効率的な政府の実現に向け、従来の歳出改革路線を堅持した三位一体改革の推進、総人件費改革、医療制度改革など歳出全般にわたる徹底した見直しを行うものであります。池田町においては、次の四事業を本年度の主要施策として取り組んでいきます。

①少子化対策支援事業として、少子化の進展により子育て世帯への経済支援、仕事と家庭の両立支援を柱とし、育児世代を優しく見守れる社会を築いていきます。

阪神淡路地震以来の課題であります災害時における初期活動体制の整備、情報連絡体制の整備を中心とした、②災害に強い防災街づくり支援事業に取り組みます。

児童生徒が国際的な感覚と視野を養うため、引き続き外国人語学講師を2名招いて、英語に親しむ学習環境づくりに努めたり、八幡小学校にALTと担当教師との連絡調整を行う英語活動専属の町単講師を重点配置し、より英語活動を充実したいと考えております。さらに、学習集団でのきめ細かな少人数指導が出来るように支援を図ってまいりますし、懸案でありました温知小学校の校舎改築工事など③教育環境整備事業に努めます。

全町的な課題として、町民・事業者・行政が一体となり、リサイクルセンターを拠点として、ごみの減量と資源化を推進する④循環型社会形成システム構築事業に取り組みます。

これらの政策の取り組みにあたり住民参加の拡大を進め、積極的に自律のまちづくりに向け努力をまいりますので、町民の皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今月の表紙

近鉄養老線池野駅で大垣行きと揖斐行きの電車が通過する様子です。桜並木の中に電車が通過していく様子は、風情がありますね。

(撮影:町民カメラマン 杉岡 健一)